

2026年1月1日

発行:ワイスメンズクラブ国際協会東日本区 東京都新宿区四谷本塩町2-11
URL:<https://ys-east.or.jp>

07

1月強調月間

JEF/EF

JEF = Japan East Y's Men's Fund(東日本区ワイス基金)

東日本区ワイス運動の安定的かつ継続的発展を支えるため、個人、クラブが記念すべき出来事、行事、慶弔事の折等に、基金に寄付を行う。寄付者氏名とその理由は、「奉仕帳」に記帳、永久保管される。

EF = Endowment Fund

国際協会の財政的な安定およびワイスダム発展のための基金。

特定の人を記念して献辞とともに個人が150スイスフラン以上、クラブが250スイスフラン以上の寄付を行うと、国際本部に永久保管されている「ゴールデンブック」に献辞が記載される。

また、一定金額以上の寄付を行った場合、献金額に応じて以下の称号が与えられる。(一部のみ記載)

- 50スイスフラン以上の献金(個人): エンダウメントフレンド
- 150スイスフラン以上の献金(個人): ポール・ウイリアム・アレキサンダー・フェロー
- 300スイスフラン以上の献金(個人): ダブル・ポール・ウイリアム・アレキサンダー・フェロー
- 500スイスフラン以上の献金(個人): マルチブル・ポール・ウイリアム・アレキサンダー・フェロー
- 1,000スイスフラン以上の献金(個人): オナーロールメンバー
- 1,000スイスフラン以上の献金(クラブ): オナーロールクラブ

JEF 東日本区ワイス基金

東日本区ワイス基金委員長
渡辺 喜代美(十勝)

「JEF (Japan East Y's Men's Fund の略称)」は、「東日本区ワイス基金」として、今年で50年を迎えました。1975年、日本で初めて開催された熱海国際大会での余剰金約900万円が全額当時の日本区に返金され「アタミ基金」となり、その後「日本ワイスメンズ基金」へ、1997年「東日本区ワイス基金」として現在に至っています。

この基金は、東日本区ワイス運動の継続的な組織と事業の発展のために、部・クラブ・個人が記念すべき出来事、行事、慶弔事のときに、感謝の気持ちを表す献金で成り立っています。また、記念行事等に関わらず隨時ワイスダム発展の為の献金も受け付けています。

献金されると寄付者名とその理由が「奉仕帳」に記載され、永久保存されるとともに区報にも掲載されます。これまでの活用実績は、ワイス記念誌発行支援、国際大会・国際交流活動の支援としての通訳器の購入、YMCA東山荘100年募金への協力等が行われてきました。また、ワイス発祥100年を記念しての「ポール・ウイリアムス・アレキサンダー遺産計画」への献金等が挙げられます。

ワイスの皆さんの感謝が献金として積み立てられ、時代に併せて必要とされる事業を支えてきました。世界が不安定な時代ではありますが、ワイスの平和を願う思いをワイス基金へ寄せていただければ幸いです。東日本区の未来をつなぐためにも、皆さんのが献金が大きな役割を果たします。ひとりひとりのワ

イズメンズクラブへの思いが形となって、新たな時代を創造し、地域を発展させていくためにお力添え宜しくお願いします。

今月のJEF強調月間に、クラブ例会でのJEF献金にご協力頂ければ幸いです。

EF エンダウメントファンド

エンダウメントファンド ("Endowment Fund) ある意味、私どもにとって一番遠く感じる言葉なのかもしれません。

国際協会 (YMI(Y's Men's International)) の足腰の強い組織づくりに役立てられる基金で将来を見据えて財政支援から組織的安定を図り各種プロジェクトなどの活動、エクステンションなどの組織拡大を支援する献金です。

記念すべき慶事(各種表彰、IBC締結、周年など)を記念し感謝を捧げること、会員の昇天に際し追悼などの気持ちが活かされる記念献金の性格が強いものです。

国際協会との直接、繋がれる貴重な献金機会であり、国際協会は感謝をもって個人では150スイスフラン・クラブにおいては250スイスフラン以上でゴールデンブックと呼ばれるブックに永遠に記録され、献金額に応じた称号が与えられます。

このエンダウメントファンドは今年の熊本でのICM(国際議会)で献金のランクが見直されました。(理事通信2号を参照ください)。

まずはそのような機会が与えられたら実際に献金して国際協会のメンバーである自覚を高めていただければと思います。

年頭のご挨拶

東日本区理事 山下 真



日本のワイズの皆さん。新年あけましておめでとうございます。

ワイズメンズクラブ東日本区を代表し、謹んで新春のご挨拶を申し上げます。

旧年中は、東日本区の活動に対し多大なるご理解とご協力を賜り、心より御礼申し上げます。

各クラブが地域に根ざし、YMCAと共に歩む奉仕の精神を実践してくださったことは、私たちの誇りであり、ワイズの未来を力強く支える原動力となりました。本年も、私たち東日本区は「地域に寄り添い、若者を支え、つながりを広げるワイズ」を合言葉に、クラブ間の連携・交流を深め、より開かれた活動を推進してまいります。

社会が大きく変化する今だからこそ、ワイズメンズクラブの存在意義が問われています。互いを励まし合い、学び合い、行動することで、私たちは地域に確かな希望を届けることができると信じています。

1月25日から3回を予定しているナイトフォーラムは不登校という親御さんにとって興味の引きそうなテーマを取り上げ、この国際協会TOFの支援を得て

更なる会員増強へ

《100日間会員増強キャンペーン》

12月9日、100日間会員増強キャンペーンは最終日を迎えました。

東日本区は7月以降 14名の新しい仲間を迎えることができました。

一方で8名の仲間失っておりました。召天された方は5名でした。

国際では大きな成果を上げ、22クラブが産声を上げ、それにともなって新たなクラブのメンバー372人がワイズとして活動を始めました。

特に韓国やインドの奮闘が目立ちますが、台湾区における台中グレートハーベストの39名の新クラブ誕生は特筆すべきものでしょう。

また、ワイズメンズクラブが誕生した米国地域において地道に新クラブが生まれているのも心強く感じます。

東日本区がおこなっている不登校児特別プロジェクトを表に押し出すことで広くワイズメンズクラブが何をやっているのか。自分たちがなんのための組織なのかを見直す試金石となると思っています。

多くの方々をぜひ巻き込んでください。

その先にある会員増強にも粘り強く取り組んでいきましょう。

ふくしまに YMCA をワイズメンズクラブをという願いを一步でも進めるために皆さまのちからをお貸し下さい。

その象徴として震災15年を記念しての第29回東日本区大会石巻大会の成功を勝ち取りましょう。

ユースボランティアリーダーズフォーラムでユースと共に学んだワイズの古くて常に新しい課題。環境プログラムのリスタートも図ってまいります。

本年が、皆さんにとって健やかで実り多い一年となりますよう、心よりお祈り申し上げます。

そして、ワイズメンズクラブの仲間として共に歩む一年が、喜びと挑戦に満ちたものとなりますよう願っております。

最後に私どもキャビネットはまだまだ皆さんの期待には応えていないと感じていますし、運営がうまくいってるとも思っていません。

逆に言えば、何が欠けて何が出来ていないかがはっきりと見えてもいます。

もがきながら、しかし楽しみながら皆さんと一步でも前進できる一年とすべく我々は奮闘することをお誓い申し上げます。

100日間会員増強キャンペーンを終えて

ふくしまにおけるYMCA設立とあわせたワイズメンズクラブの立ち上げをしっかりと取り組んでまいりますので皆さまのご支援をよろしくお願ひします。

恐らく多くのみなさんはなかなか成果の上がらない会員増強の結果に少しがっかりとされていると思います。

しかしながらこの取り組みは我々ワイズに課せられた永遠の挑戦です。

100日キャンペーンが終ったからといって今年の挑戦は終ったわけではありません。

常に意識をもってこの挑戦に取り組んでまいりましょう。

Only One (大切な人をたった一人)

一步一歩、素晴らしいワイズメンズクラブの交流の輪に大切なあの人を招き入れましょう

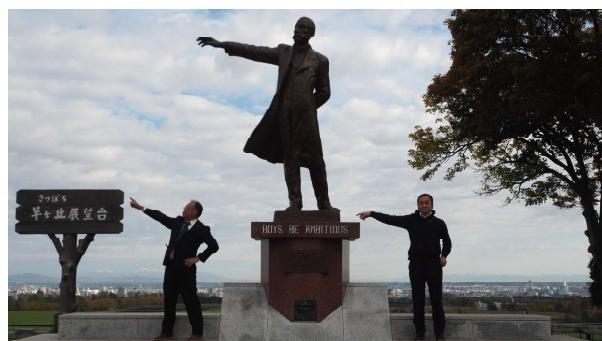
今月号には掲載のタイミングの関係で掲載は控えましたが12月に入って熱海クラブで新たに3名の新規入会者がおられ、EMC事業委員会のLINEグループで情報を感謝しながら共有したところです。

熱海クラブの奮闘ぶりが大きく目立ち、とりわけ川村昌彦ワイズのお働きには驚くばかりです。この場をお借りして心よりの感謝を申し上げます。

Only One (大切な人をたった一人)

一步一步、素晴らしいワイズメンズクラブの交流の輪に大切な人の招き入れましょう

1. ユースエンパワーメント応援隊募集
ユース活動の報告会に、家族や友人を招待する。
2. CS,Yサ活動の活性化
地域にもっとワイズをアピールする
3. クラブ会員と友人知人のボランティアを誘って一緒に楽しむ
講演会・映画会・音楽会・○○散歩など)



ワイズメンズクラブを広げるツールがこんなにある! 仲間を増やすヒント、ここにあります

ひとりの声が、地域を動かす。

ワイズをもっと知ってもらうために、できること。



ツールを活用して、
もっとワイズを知ってもらおう!
仲間を増やして、
活動をもっと豊かに。

「ふくしま YMCA」設立に向けた三つの資料について

ふくしま YMCA 設立準備委員
川上直哉（石巻広域クラブ書記）

「ワイズメンズクラブは、何をしている団体ですか？」
—石巻で、私たちはずっと、この質問に向き合ってきました。この昨年くらいからでしょうか。「青少年の健全な育成を目指して、YMCAと協働しています」と、いつも答えられるようになりました。人数が減り、内部に行き違いが生じ、活動が停滞する・・・ということがあったとしても、これで、きっと、何とかなるように思います。それは、大きな進歩だったと思います。

この進歩は、「ふくしま YMCA」設立に向けた努力の中から生じました。その経緯を記したのが、資料「ふくしま YMCA 設立趣意書について」です。それは「部外者向け」に書いたものですから、「YMCA そのもの」の起原から説き起こして説明をしています。それで、書き落とした大切なことがあります。「2019年1月13日」という日付です。

コロナ騒動の終わりが見えてきた時期でした。強いら

れた停滞を突破しようという思いを込めて、北東部合同での新年例会が仙台で開催されました。それが「2019年1月13日」でした。この新年例会のあいさつとして、当時の北東部長であった大久保知宏さんが「何としても、福島にワイズメンズクラブをつくる」と宣言されたのでした。ここが、「ふくしま YMCA」の、実際のスタート地点となりました。

ゆっくりと準備をして、私たちは福島市内の諸教会に説明に上がりました。しかし、結果は散々でした。「ワイズメン」という言葉に、普通の牧師たちは「ぽかん」とし、英語が堪能な信徒さんは笑いをこらえられずに思わず噴き出しておられました。「ワイズメン」は、通常の英語では「賢人」を意味するのです。「賢人会ですか。私は、ちょっと無理ですね」という感じです。でも「YMCA」という言葉は知られており、そのイメージは良いものでした。「クリスチャン団体だったのですか!」という驚きの声が上がったことは、とても印象的でしたが・・・。

その時、石巻の経験が強く思い出されました。石巻市にも「YMCA」が無いのです。支援活動で全国から「YMCA」が来てくれた、という記憶だけが頼りです。

ですから、震災の記憶の風化と共に「石巻広域ワイズメンズクラブ」もスカスカになって行く。それが切ない現実です。「なるほど、YMCA がなければ、無理か」と理解されました。そしてそこから、つまり「YMCA とは何か」を理解するところから「ふくしま YMCA」構想が固まり、それが結局「ワイズメンズクラブとは?」という冒頭の問への答になって行った。そんなことがあったのです。

どうぞ、「ふくしま YMCA 設立趣意書について」をご高覧ください。そしてそこから進んで「ふくしま YMCA 設立趣意書」をお目通しくだされば幸いです。そして、風化に晒される福島県の被災地を覚えて下さ

W4W の準備を



日本のワイズにとって環境問題への歴史は古く、十勝でのアジア大会後、電気使用量の削減を目指し使用量の報告や横浜の国際大会でも「カーボンニュートラルを宣言」する野心的な方針を柱に多様な取り組みが工夫を凝らしながら行われてきました。

昨年、熊本で行われたAC2025とあわせて開催された国際議会では「熊本宣言」が採択されました。

ユース ボランティアリーダーズ フォーラムではリーダーのみなさんの柔軟な発想や真摯な姿勢にお驚かされました。

刺激を受けたワイズ側の総括として「東日本区のW4Wの実施達成率を80%とする」との宣言が飛び出しました。

自分のやれることはわずかと思いがちです。
基調講演はホールアース自然学校の山崎 宏氏はそれを「ハチドリの一滴」を表現されました。

山火事でハチドリは逃げずに湖からくちばしに含んだ水を炎めがけて何度も掛ける、その無謀とも言える行動と環境問題への取り組みはつながるものがあるとされました。

しかし、人類が行ってきた環境保護の行動は本当に成果に乏しいものだったのでしょうか?

昨年6月、環境省は家庭からのCO2の排出量が2017年比で22.8%減ったことを調査結果として公表しています。

それは世帯人数の減少(2.39人から2.17人へ)を差し引いても決して小さなものではありません。

アンケートでは「冷蔵庫をすぐ閉める(88%)」「エアコン室外機の周りをきれいにする(86%)」「こまめな消灯を心がける(23%)」な

い。その手掛かりになる資料ができました。「子どもたちに『今起こっていること』を」です。併せてご笑覧に与れば、まことに幸いです。

このコラムで紹介されている3本の資料は東日本区ウェブサイトに登録しました ぜひご覧下さい

<https://ys-east.or.jp/news/7612>

- ふくしま YMCA 設立趣意書について
- ふくしま YMCA 設立趣意書
- 子供たちに『今起こっていること』を

環境問題へのアプローチの再強化を

ど、市民の意識改革と地道な取り組みがこの数字に表れていると思います。

また、原発推進派にとって耳ざわりの悪い記述ですが、電気の排出係数も0.5%から0.427%に下落し、クリーンエネルギーへの転換が段階的に進んでいます。

一方、国内で破棄された食糧は一人あたり37キロと依然多いものの前年比1.7%8万トンの減少となっていて、特にサービス業からの破棄が減りつつあります。

積み重なった自然への過度な環境破壊の結果は自然災害として大きな影響を人間社会にもたらしていてその大きさには圧倒されるばかりです。

しかし、まだ、諦めるには早いと思います。

国際協会の環境問題統一行動であるW4W(Week for Waste)の取り組みは日本国内の先駆的なワイズメンズクラブによって取り組みがすすめられてきましたが、取り組むクラブは昨年、残念なことに減少してしまいました。

もしW4Wの環境問題に対する小さな一歩が、ユースと共にできるなら、メンバーの理解を得ることが出来るのなら、地域にワイズをアピールし共に行動ができるのならワイズの未来を変える大きな力になるかもしれません。

やってみなければ見えないものがきっとそこにはあります。



基本は実施時期:2025年4月20日~26日の週を推奨期間として設定されていますがこの期間以外での実施も可能です。

ユースも含めて地域のみなさんとの共働も含めて取り組みを今から準備をしてください。

世界を結んで子供たちに豊かで安心できる環境を残すためにできることをやりましょう。

歴史を振りかえり明日へ歩み出す

昨年度の周年記念のふりかえり

昨年開催された周年記念の報告を各クラブに依頼して提供していただきました。

歴史を積み重ね新たな一步を積み重ねるスタートを切られたこれらのクラブの思いに触れ、我々も新年にあたり今日からひとつひとつ輝かしい歴史を重ねてまいりましょう。

今年も周年記念の計画があるとの報告を受けております。その成功を心から祈念いたしております。



2025年10月25日（土）の晩秋の札幌で、札幌ワイズメンズクラブの創立70周年記念式典と祝宴会が、北海道部の部会と合同で開催されました。

十勝・北見の北海道クラブのワイズメン、東日本区から山下理事、榎本書記、金子副書記、鈴木次々期理事、DBCの京都パレスワイズメンズクラブ、石巻広域クラブ、盛岡クラブ、仙台青葉城クラブからワイズメンの仲間に大勢来社いただきました。IBCの台湾区台中聯青社の皆さんからは、友情に満ちたビデオレターをお送りいただきました。

式典では、山下東日本区理事、後藤京都パレスワイズメンズクラブ交流委員長、台中聯青社より祝辞をいただいたのち、2015年から今までの札幌クラブの活動を紹介するスライドを上映しました。永年会員表彰では、札幌クラブに長年多大な貢献をいただいた中田靖泰先生と義村小夜子さんに対してクラブからこれまでの感謝と記念品をお贈りさせていただき、中田先生からは我々感動的なメッセージをいただきました。

記念講演では、オリンピックモーグル代表、登山家・冒險家、医学博士の三浦豪太氏を講師に、「挑戦すること、それが人生をつくる～冒險家の目に映る未来～」をテーマに、お父様の三浦雄一郎さん80歳でのエベレスト登頂の経験を中心に、素敵なお話をいただきました。中高年に突入している我々ワイズメンにとって、年齢関係なく常に挑戦していくことで豊かな人生を過ごすことができるという、とても勇気づけられたメッセージをいただいた記念講演でした。

祝宴は京都クラブの大野嘉宏さんに60周年に引き続き乾杯の音頭をとっていただき、普段なかなか一緒になることがない各クラブのメンバーの交流で大いに盛り上りました。

無事に70周年の記念行事を終え、皆さんから良かつたと仰っていただき、正直とても安堵しています準備と式典実施に尽力いただいた札幌クラブメンバーの皆さんには、心より感謝申し上げます。ありがとうございました



親愛なるワイズメンの皆様へ
2025年11月15日に伊東クラブ創立50周年記念例会・祝賀会が皆様方のご協力の下、無事に終わることができましたことを、この場をお借りして厚く御礼申し上げます。

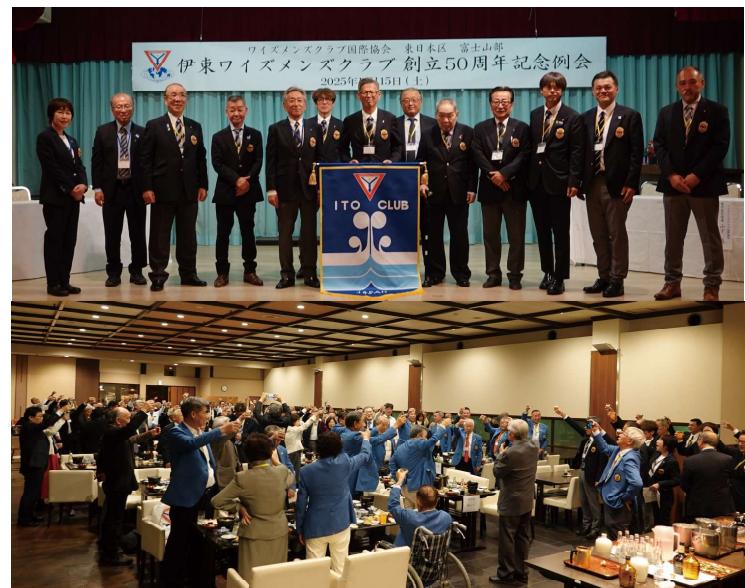
この二年位は、メンバーが手分けして各地に出向き、伊東クラブ50周年記念例会のアピールを行ってきた甲斐があり、山下理事を始め、全国より多くのワイズメンに伊東までお越しいただき、総勢155名と想像を上回る結果となりました。

開宴に先立ち、富士宮クラブ佐野加奈Y's、理子コメットによるお茶のサービスでのお出迎え、稻葉50周年記念実行委員長のリーダーシップの下、来ていただいたワイズメンが楽しんでいただけたような内容にするため、試行錯誤しておこなった結果、多くのワイズメンに「伊東クラブらしく楽しかった。」とお褒めの言葉をいただく一方、段取りの悪さが目立ち、山下理事に場をつないでいただくハプニングなど、至らぬ点

が多々あり反省点もありますが、伊東クラブらしいと笑ってください（笑）
50周年記念事業としては、チャーター時より支えてくれた二名のメンバーの表彰、北見クラブとのDBC締結と新たな転換点を迎える、次のステップに向かいます。祝賀会では伊東スパークスによる、スタイルパン十富士宮クラブ佐野加奈Y'sの演奏など花を添えていただき、また、DBC先である彦根シャトークラブ・京都プリンスクラブの多くの仲間が、祝賀会を盛り上げてくれたことに感謝するとともに、新たに北見クラブと兄弟クラブが増え益々と各地へ出向くことが多くなりそうな予感を感じつつ、皆様と更なる交流が出来ればと考えます。皆さんのおかげで無事終了でき、盛り上げていただいたことに感謝します。

60周年、70周年と迎えられるクラブ作りにメンバー一同精進してまいりますので今後とも伊東ワイズメンズクラブにご指導・ご鞭撻のほどよろしくお願ひ申し上げます。

※ワイズの活動が本当に楽しいと感じる時間でした。ありがとうございましたm(_)_m



富士山本宮浅間大社参集所に於いて、富士宮クラブ30周年記念例会を開催しました。

日時は、2025年10月18日（土）14:00 開演 17:00 閉会、富士宮クラブ15名の他、DBCの滋賀蒲生野クラブ及び富士山部の熱海・沼津・伊東・三島・下田・熱海グローリー・御殿場・富士と61名の参加をいただきました。当時は第一部として、滋賀蒲生野クラブの尾崎ワイズによる信長パフォーマンスを講演・披露していただきました。第二部は、2階に移動し、いつもの宴会です。皆さんに楽しんでいただきました。富士宮クラブは1996年9月にチャーター、大雨の中の開催と聞いています。そんな中、富士山を背負った富士宮として、様々な事業を展開し、おおいに飲み、楽しく活動してきました。今現在16名の在籍者の中、8名のメンバーがチャーター時から残っています。今回、30周年を迎えるにあたり、伊藤一芳実行委員長の下、おもてなしに徹した富士宮ク

ラブらしい30周年を心がけ、メンバー一同、皆様を迎えることができたと思っています。これからも心地よいクラブであり続けてまいります。



10月25日（土）～26（日）、長野クラブは、ご縁のある栄村で、標記の特別例会を開催いたしました。北海道部大会など大切な行事と重なってしまいましたが、そのような中、在甲・在京のクラブを中心に南は伊東クラブ、西は大阪長野クラブから計28名と、記念卓話にお招きした栄村村議会議員の2名、合計30名の方々が集められました。

長野クラブのチャーターは2010年10月。その5か月後、東日本大地震の翌日に栄村大地震が発生しました。その後、長野クラブは被災地に何度も足を運び、栄村とのご縁は今も続いています。

さて、25日は15時から特別例会、15:30から記念卓話、そして18時からワイズディナーというプログラム。

特に、今回の記念卓話をお願いしたのは、当時、村消防団副団長として最前線で活躍された、現在は村議会議員の齋藤真吾さん、そして大震災の後から今まで、栄村と長野クラブとのパイプ役を担ってくださっている、こちらも現在村議会議員の福原一男さんです。特に、齋藤さんからは、栄村大震災発生の1年前に実施した村民総出の総合避難訓練の成果が実際の大震災時に発揮され、発生後1時間半で村民全員の無事が確認できたという話が紹介されました。日頃の備え、臨場感のある訓練、真剣に取り組んだ村民の防災意識の高さが、想定外の大震災にも大いに役立つのだ、学ばされたと思いました。

お待ちかねのワイズディナーは、今回の会場、中条温泉トマトの国による、栄村産食材の郷土料理に栄村コシヒカリの新米を合わせた御膳に舌鼓を打ちました。栄村は新潟県魚沼地方と県境を接しており、栄村産コシヒカリは魚沼産に引けを取らない、しっかりとした粘りと香り、甘みのある、もっちりとした食感が特徴。その新米を参加者の皆さんに堪能していただけて、企画者として感無量でした。

食後、こちらもお待ちかねの二次会は出席率83.3%、その後三次会と、時間を気にせず心ゆくまで語り合うこ

とができ、これがワイズの醍醐味ではないかと実感しました。今回ご参加いただいたワイズメンの皆さんに感謝です。

私達長野クラブには代表的なCSプログラムがなく、15周年と言うには恥ずかしかったのですが、節目を祝うことは竹のようにまっすぐ伸びていくために必要だと実感しましたので、この報告もその節目のひとつと捉え、寄稿させていただきます。



10月18日（土）船橋駅近くの「鳥元」にて、千葉ウエストクラブ創立5周年記念例会が、大勢のビジター（千葉クラブ:3名、東京西クラブ:4名）を迎えて開催された。因みに、国際協会加盟認証状伝達式は、コロナ禍の2020年10月3日の関東東部大会の下で挙行され、チャーターした。

第1部は、通常例会形式で簡潔に終え、山下理事からの祝電を披露した後、第2部の祝会に移った。

第2部の祝会では、廣田千葉クラブ会長の乾杯の音頭で始まり、「鳥元」料理を堪能しながら、懇談のひと時を持った。ビジターからのお祝いの一言を受けたのち、当クラブのメンバーは、長尾会長が作成した「千葉ウエストクラブ5年の歩み」を参考しながら、この5年の想いを述べた。

長尾会長から「高田君が船橋へ引っ越したのを機に、千葉クラブとして青木一芳君と一緒に横浜クラブへ高田君をもらいに行き、高田君が船橋教会の門柱にYMCAの看板を見つけたのが、そもそも千葉ウエストクラブ創立の引き金になった。」ことが語られた。

設立準備の時には、長尾君の高校の後輩で、高田君の職場の後輩でもある岡田裕三君との出会いがあり、無事にチャーターメンバーとなったことや、子ども食堂支援を続けてこられたこと、少人数ではあるが何とかやってこられたこと、あっという間に5年がたってしまったことなどが語られた。最後に高田一彦君の閉会の言葉、長尾会長のミニベルでの閉会点鐘で創立5周年記念例会の幕を閉じた。



次期の次期理事候補推薦を受付

4月に行われる東日本区役員会までに次々期理事候補者を選考する必要があります。候補者の立候補と推薦を募集します。4月の役員会にて審議しますので、2026年3月末までに候補者を募集します。

参考までに以下の予定を申し上げます。

- ・2025-26年度現理事 山下真さん（十勝クラブ）1年目
- ・2026-27年度理事 山下真さん（十勝クラブ）2年目
- ・2027-28年度理事 鈴木伊知郎さん（宇都宮東クラブ）

今回募集するのは、2028-29年度の次々期理事となります。

次々期理事の選考委員長は、山田公平（2023-25年度直前理事）が行います。

候補者（自薦、他薦）お願いします。

後期半年報の提出期日は1月10日

2025-26<後期半年報>の報告をお願いします。
12月26日郵送で資料は送付しました。

■基準日

2026年1月1日現在の会員の変動（期間 2025.7.2 ~ 2026.1.1）

■報告告

会長からの報告方法（直接 東日本区事務所へ報告願います）

- ・報告期限 1月10日まで（東日本区事務所へ報告）
- ・後期半年報報告用紙にて郵送済報告書又は東日本区ホームページダウンロードExcelデータへ記入し東日本区事務所へファックスかメールにて報告
- ◎ e-mail yseast2010@gmail.com
- ◎ FAX 03-5367-6652

東日本区ホームページ上段の「会員ページ⇒ドキュメント⇒半年報」にエクセル版データ掲載

◇BF献金の使用済み切手の送付方法が変わりました。

1キロ以上で区事務所へ送付してください。業者からの依頼がありました。

■添付書類

2025.7.1半年報

23025-26後期（半年報）報告用紙

使用済み切手の送付方法

1月10日の報告日
厳守でお願いします

ご注意ください
半年報の提出先は
東日本区事務所です

国際選挙の投票は1月26日まで

2025-2026国際選挙権を有するクラブは以下の通りとなっています。

投票権をお持ちのクラブは国際協会本部より会長宛に投票リンクが記されたメールが届いています。

投票権のある以下の2.3.に記載したクラブの会長は早めにオンライン投票をお願いします。

1. 国際選挙投票期間は、

中央ヨーロッパ時間 2025年12月12日(金)午後5時～2026年1月26日(月)午後5時
日本時間 2025年12月13日(土)午前1時～2026年1月27日(火)午前1時

2. 国際選挙権を有するクラブ(直近3半期の会員が15名以上、会費の未納がないクラブ)

十勝、宇都宮、仙台青葉城、もりおか、石巻広域、東京江東、東京グリーン、東京、東京多摩スマイル、甲府、甲府21、横浜つづき、熱海、富士宮
(14クラブ)

3. 2025-2026国際憲法・ガバナンス409 免除申請が承認されたクラブ

(チャーター後25年経過、直近3半期会員数5名～14名、会費の未納がないクラブ)

札幌、北見、仙台、前橋、那須、千葉、埼玉、東京ひがし、川越、東京むかで、東京町田コスモス、東京西、東京武蔵野多摩、東京サンライズ、東京八王子、横浜、鎌倉、沼津、伊東、三島、熱海グローリー、御殿場、富士
(23クラブ)

4. 東日本区国際選挙権を有するクラブ数

37クラブ

国際協会から各クラブ会長へアンケート

YMI「夢の祭典」クラブ調査

提出期日は1月26日

お得なスーパーアーリーバード
登録は1月31日まで

今年は国際大会開催の年となります。

2026年9月10日～13日、YMIの集う兄弟姉妹は、ドバイに集い、「夢の祭典」と銘打たれたこの大会においてYMIの未来について夢を語ることとなるでしょう。

そのため各クラブ会長へそれぞれがもっている夢をリサーチするためのアンケートが国際本部からメール配信で要請されています。

夢は、人々に次の行動を促します。

- ・ メンバーとしてクラブに参加すること
- ・ 時間とリソースを私たちの使命のために捧げること
- ・ 地域および世界中で、親睦の喜びを分かち合うこと

各クラブ会長はそれぞれが抱くクラブの夢を、世界のワイズメンと共有してください。

あなたのクラブは、世界、地域社会、YMCAにどのような前向きな変化をもたらしたいですか。

調査の回答期限は1月26日です。

また、3月以降にはメンバーにもアンケートが予定されています。

新年を迎えて新たな歩みを始めた皆さん。

今からそれぞれの心の支えである「夢」についてそれが言葉にしていく機会としてください。

ドバイで夢を語ろう



日本 YMCA 同盟報告 (2026 年 1 月)

新年あけましておめでとうございます。
2026 年が平和で穏やかな年でありますよう、心からお祈りいたします。
2 年前、2024 年の元日は能登半島地震の発生に強い衝撃を受けました。さらに同年秋の豪雨でも大きな被害を受けた能登の復興は道半ばにあります。報道で取り上げられる回数は大きく減ってしまいました。
私たちは、能登の皆さんことを忘れず、特に子どもたちに楽しい体験の提供を通してその成長を応援したいという思いをもって、今年の冬も輪島市在住の子どもたちを対象としたリフレッシュスキーキャンプを開催します（立山スノーブリッジスキーキャンプ、1 月 10 ~ 12 日、主管: 富山 YMCA、滋賀 YMCA）。安全が守られ、子どもたちが楽しい時間を過ごせるよう、お祈

りください。

2 月にはウクライナ侵攻から 4 年を迎えます。同盟では、日本滞在が思いのほか長期間になってしまったウクライナ避難者を対象とした大規模アンケート調査を年頭に実施し、その結果を今後の政策提言に生かす予定です。

YMCA は、2026 年も、戦争、紛争、災害等によって、小さくされている人々と歩みを共にし、地域および世界の平和の実現のための働きを続けてまいります。引き続き、ワイズの皆様のご支援、ご協力、お祈りをお願い申し上げます。

田附和久／日本 YMCA 同盟

今後の予定

1月 6日	区大会実行委員会	1月 25日	ワイズナイトフォーラム
1月 10日	在京新年会	1月 26日	国際選挙投票期日
1月 10日	在山梨4クラブ合同新年会	1月 29日	ワイズ・YMCAパートナーシップ委員会
1月 10日	後期半年報報告期日	1月 31日	国際大会ドバイ大会スーパーアーリーバード期日
1月 12日	東新部Y友広場ワイワイクッキング	2月 5日	常任役員会
1月 14日	ふくしまYMCA設立準備会	2月 15日	ワイズナイトフォーラム
1月 15日	CS・Yサ事業委員会	2月 15日	後期区費・各種献金納入期日
1月 16日	不登校児対応プロジェクト委員会	3月 10日-13日	RDEサミット
1月 16日	ラオスYMCA報告会・新年会	3月 14日-15日	次期クラブ会長・部役員研修会
1月 17日	かながわ部評議会・新年会	3月 15日	年次代議員会公示
1月 18日	東日本区大会ホスト委員会	3月 22日	ワイズナイトフォーラム

新規入会者のご案内

11 月はいらっしゃいませんでした

JEF 献金

11 月はいらっしゃいませんでした

ワイズナイトフォーラムのお知らせ

昨年のナイトフォーラムは各クラブの事例からワイズメン自らがワイズとは何か、今ワイズがなぜ必要なのかをしっかりとと考え取り組みを共有してきました。

その上に立って今年はあらためてワイズとは何かを外にアピールしていこうという目的で開催いたします。

このナイトフォーラムのスタートは東日本区の会員増強特別プログラム「Change!2022」の中でワイズの入会候補者を招いてワイズの取り組みを外にアピールすることが目的でした。そういう意味。先祖返りです。

社会的にも大きな課題となっている不登校児の問題ですが子供の心のケアという YMCA が追求してきた社会奉仕プログラムの一環として各地で取り組み

が進められてきました。

東日本区では YMI (国際協会) に T.O.F 基金の交付申請を行い採択され不登校児対応プログラム委員会を立ち上げ今年は 2 年目を迎えております。

しかし、ワイズメンさえほとんどこの取り組みが知られていない実態にあります。

ぜひ入会候補者や YMCA 関係者、ユースなどこの不登校児問題に興味を持つ周りの皆さんを誘いながら、また、同時にワイズメンとして今、教育現場に何が起きているのか？その取り組みを身近な YMCA の事例に学び、YMCA を支えるワイズメンズクラブの必然性を実感してほしいと願っております。

ぜひ多くの皆さまの参加をお願い申し上げます。詳しくは次ページをご覧ください

ワイズ・ナイトフォーラム(Zoom開催)

2021年にワイズ・ナイトフォーラムを開催してから4年が過ぎました。私達ワイズメンズクラブは、各地のYMCAを支援すること、地域社会に貢献すること、国際的な奉仕活動を行うことなどを目的として活動しています。今回のフォーラムでは東日本区のTOF活動として行っている不登校問題です。不登校がなぜ多くなっているのか、ワイズやYMCAはどんな対応を考えるかなど、不登校生徒にかかわる専門家の話を伺いながら進めていきます。この問題に関心ある方、あるいは新入会員候補や知人を呼び、EMCにも繋がればと思いますので、是非、声掛けをお願い致します。

参加方法：当日標記のズーム参加アドレスに入室(予約は不要です)

参加対象：ワイズメンバー（新規メンバー候補や関心ある方を含む）
主 催：一般社団法人 ワイズメンズクラブ国際協会東日本区
運 営：東日本区地域奉仕・YMCAサービス事業委員会

第1回 2026年1月25日(日曜日) 20時～21時

不登校問題：数年前まで小学校校長をしていた土肥満先生は、退職後に山梨YMCAで不登校の子どもたちへの活動を始めました。その取り組みから感じることなどをお話しいただきます。

参加アドレス Zoom

<https://us06web.zoom.us/j/82491201054?pwd=GhvZYN178YArwgNes2xwS5rRpF8YJy.1>

ミーティング ID: 824 9120 1054 パスコード: 547021

第2回 2026年2月15日(日曜日) 20時～21時

不登校問題：富山YMCAの上村香野子総主事は、20年前から学校になじまない子どもたちへの居場所を始めました。集まつくる子供たちは何を求めているのか、活動を通して考えることなどを紹介してもらいます。

参加アドレス Zoom

<https://us06web.zoom.us/j/82834160715?pwd=smRebpBO3tlCfcfdNoaA9bhWYAHgKh.1>

ミーティング ID: 828 3416 0715 パスコード: 416706

第3回（最終回） 2026年3月22日(日曜日) 20時～21時

不登校問題：宇都宮で不登校問題に取り組む土橋優平さんにお話しいただきます。親との相談窓口など取り組みんできた方で、これまでの2回にわたるセッションで考えること、YMCAあるいはワイズメンとしてどんなことができるかなど話し合いましょう。

参加アドレス Zoom

<https://us06web.zoom.us/j/81785486095?pwd=u0LKWF44zT48sMqckvMXAiHHPuXZS6.1>

ミーティング ID: 817 8548 6095 パスコード: 371090